

個性：みんなちがっていいんだよ



ひとりひとり【成美堂出版】

(詩)谷川俊太郎 (絵)ふくだとしお

すべてはひとりひとりからはじまるが、全ての地球を故郷とする。

個々に互いの違いを認め、力を合わせ、互いに学ぶこと、それが個々の自立にもつながる。素敵なイラストとともに谷川俊太郎の世界観が楽しめる大人にも読んで欲しい一冊。



ぼくだけのこと【偕成社】

(文)森絵都 (絵)スギヤマカナヨ

日常の些細な出来事でも、自分だけが特別に思えることってありますよね。そんな事が積み重なり、とっておきの「ぼく」がいるのかもしれない。そんな風に思える作品です。



てん【あすなろ書房】

(作)ピーター・レイノルズ (訳)谷川俊太郎

お絵描きなんて大きらい！ 苦しまぎれに描いたのはちっぽけな《てん》ひとつ。そのちっぽけな《てん》にかくされた大きな意味を知って主人公ワシテは変わりはじめる。

どんなことも、気持ちひとつ！ 世の図画ぎらいを勇気づける絵本！



あしなが【講談社】

(作・絵)あきやまただし

噂によると、カッコいいけど最低なヤツ「あしなが」。けれど、野良犬のケンが出会ったのは……。

外見や噂だけから、本当の姿は見えないものです。



タンタンタンゴはパパふたり【ポット出版】

(文)ジャスティン・リチャードソン & ピーター・パーネル

(絵)ヘンリー・コール (訳)尾辻かな子・前田和男

オスのペンギン同士でカップルになったロイとシロ。まわりのカップルのように、巣を作り一緒に眠るようになりました。卵の代わりに石を一生懸命暖める二羽の巣に、飼育員さんが卵を置きました……。

ニューヨークにある動物園で実際にあった話。家族や性の多様性を感じる一冊です。



くれよんのくろくん【童心社】

(作)なかやみわ

10色のクレヨンたちが画用紙に絵を描きます。赤いクレヨンのあかさんはチューリップ、あおくんは青空を……、それぞれ自分の個性を出して大満足！ところが……黒色くろくんは出番がなく仲間に入れてもらえません……

登場するのはクレヨンとシャープペンと紙だけです。みんな素晴らしい！ 十人十色だなあ、とあたたかい気持ちになります。

※低学年向き

